

## 平成21年度長期社会体験研修修了報告書

研修者名 剣持 由美子 所属校種 小学校

研修先企業・部署名 社会福祉法人 新生会

### 1 研修内容

- (1) 養護老人ホーム 恵泉園【4月1日～4月30日】
  - ・入居者とのコミュニケーション、食事の配膳と下膳の介助、室内清掃（ガラスふき、掃除機かけなど）、洗濯物の整理、行事への参加（誕生茶話会、ロビー喫茶、春の日帰り旅行、入居者懇談会）、新生会全体朝礼への参加
- (2) 有料ケアホーム 新生の園【5月1日～5月29日】
  - ・入居者とのコミュニケーション、食事の配膳と下膳の介助、室内清掃（ガラスふき、掃除機かけなど）、環境整備（植物の管理、花壇の管理）、行事への参加（誕生茶話会、ロビー喫茶、春の日帰り旅行、入居者懇談会、グルメの会、賛美の会）、カウンセリングセミナー初級への参加、新生会全体朝礼への参加
- (3) 特別養護老人ホーム エンジェルホーム【6月1日～6月30日】
  - ・入居者とのコミュニケーション、食事の配膳と下膳の介助、食事の介助・室内清掃（ガラスふき、掃除機かけ、トイレ掃除、流し洗い、シーツ交換）、行事への参加（誕生会、ロビー喫茶、歌謡アンサンブル）、葬儀への参列、リハビリの送迎、新生会全体朝礼への参加、ジョージが丘記念祝会への参加
- (4) 高齢者有料ホーム梅香ハイツマリヤ館・軽費老人ホームB型梅香ハイツバルナバ館【7月1日～7月31日】
  - ・入居者とのコミュニケーション、食事の配膳と下膳、室内清掃（ガラスふき、掃除機かけ）、行事への参加（ロビー喫茶、名作を読む会、書道の会、動物とふれあう会、入居者茶話会、ビデオの会、ぬりえの会）、ラジオ体操の参加、新生会全体朝礼への参加、梅香ハイツ記念祝会への参加
- (5) 老人福祉センター 梅香ハイツ高齢者開発センター【8月3日～8月31日】
  - ・風呂掃除（大浴場、他）、リネン具の管理（布団干し、アイロンがけ、など）、草むしり、客室の掃除、調理場の手伝い、新生会全体朝礼への参加
- (6) 特別養護老人ホーム 榛名憩の園【9月1日～9月30日】
  - ・入居者とのコミュニケーション、食事の配膳と下膳、室内清掃ガラスふき、掃除機かけ、シーツ交換、入浴時の手伝い、園芸くらぶへの参加、新生会全体朝礼への参加
- (7) 地域生活支援センターデイサービスセンターフィリア【10月1日～10月31日】
  - ・利用者とのコミュニケーション、食事の配膳と下膳、手芸制作の手伝い、行事への参加（榛名湖ドライブ）、健康体操の補助、レクリエーションの手伝い、新生会全体朝礼への参加
- (8) 軽費老人ホームA型 榛名春光園【11月1日～11月30日】
  - ・入居者とのコミュニケーション、食事の配膳と下膳、食堂・大浴場清掃、行事への参加（ジャズコンサート、唱歌の会）、新生会全体朝礼への参加
- (9) 特別養護老人ホーム 誠の園【12月1日～12月28日】
  - ・入居者とのコミュニケーション、食事の配膳と下膳、介助、フロア廊下、居室の掃除（掃除機かけ、拭き掃除）、清拭の準備、洗濯物仕分け、クリスマスの準備（ツリー飾り、ブロンズ像磨き、電飾設置の手伝い、祝会の準備）、入居者懇談会への参加、陶芸教室の参観、介護用品の整理、新生会全体朝礼への参加
- (10) マチュアホーム穏和の園・アニマルコンパニオンホーム桜の園【1月4日～1月31日】
  - ・入居者とのコミュニケーション、食事の配膳と下膳、新年会への参加、入居者懇談会への参加、誕生唱歌の会への参加、新生会全体朝礼への参加
- (11) 軽費老人ホームB型梅香ハイツバルナバ館【2月1日～2月28日】
  - ・（館内改修工事のため）入居者の引っ越しの荷物整理、居室清掃など
- (12) 地域生活支援センターデイサービスセンターフィリア【3月1日～3月19日】
  - ・研修のふり返り

## 2 研修から学んだこと

### (1) 社会福祉法人 新生会の精神的基盤

新生会は高齢者総合福祉コンビネーションシステムと呼ばれる施設で、入居者のニーズに応じた多様なタイプの施設があり、「人間が自分の個性を生かし、自己完結の老年期を生き生きと生きること」という創立者の老人福祉に対する情熱と愛情が継承されている。創業の精神と基本理念がしっかりと受け継がれている。制度の制約にとらわれず、画一的な方法でなく、時間をかけて取り組む、プロセスを大事にする姿勢は学校においても見習うべき点が多い。

週に3回行われる職員全体朝礼では、「一日一話」「天よりの声」という読み物を朗読する場面がある。職員は日々の体験を省みながら、精神的な成長を目指している。各施設の報告、研修報告などもきちんとしている。毎年多くの実習生やボランティアを受け入れている。職員は温かく受け入れ、ひとりひとりの体験を大事に支えている。

### (2) 様々なコミュニケーションの取り方

新生会には、入居者が約500人いる。「話を聴く」「一緒にテレビを見る」「手をふれる」「一緒に活動する」など、人間関係を築くためにいろいろなコミュニケーションの取り方を工夫している。その中で、「人を多角的な側面から見ること」「相手の立場に立ってコミュニケーションを取ること」の大切さに気づかされた。新生会のケアは個を尊重し、答えを一つに決めつけないという姿勢がある。結果や成果だけにとらわれず、プロセスを大切にしている。入居者の家族とも「施設側からこまめに連絡をとる」など相手側を尊重したコミュニケーションを取っている。

研修中、お年寄りの「話を聴く」時間が多かった。話を聴いてもらうということが、人の心を癒すのだと感じる。そのことで自己開示し、その後、自己解決していける問題もあるのではないかと思う。ケアは、「見守る」「支える」「相手を尊重する」など、相手を受け入れることから始まる。忙しい時間に流されずに、学校でも、そんな「ゆっくり」「じっくり」時間をかけて取り組む場面が必要だと感じる。

### (3) チームワークの重要性

介護の仕事は、入居者ひとりに対して全体で関わる場面が大変多い。その人にとって一番よいケアの方法をみんなで考え、実行している。職員は個々に責任をもち、その上で皆で協力して入居者に接している。細かなことでもすぐに報告しあう姿は参考になった。

仕事は、組織の一員として職務を遂行するだけでなく、個人の間力と集団の間関係が大切だと改めて思った。そういう毎日の小さな、そして大切なコミュニケーションの積み重ねが、仕事上の新たな発見や意識改革、仕事への意欲にもつながっていくのだと思う。

## 3 所感

学校を離れ、新しいこと、新しい人に出会って向き合った1年の内容の重さ、深さを感じる。毎日新鮮で楽しかった。そして、成長期の子供達との1年はどれほど大切なのかを思った。また、1年でたくさんの方とお別れもした。その方の人生の終末期に出会えたご縁を不思議に思う。お年寄りの話を聴き、人間の一生を思い、自分の今までと今と、これからを考えさせられることがたくさんあった。だれでも迎える「老年期」にどう向き合っていくか、どう関わっていくかを主観的にも客観的にも考える時間があった。学校や教育について外側から見ることができた。時間に追われる毎日を過ごしていると「じっくり」「ゆっくり」物事を考える時間がない。この1年は本当に充実した、そして楽しい1年であったと心から思う。何にも代え難い自分の財産になった。現場でも、この研修で学んだことを生かしていきたいと思う。研修を支えてくださった新生会のみなさんに感謝したいと思う。